

議 事 要 旨

会 議 名 称	伊那市地域公共交通会議・伊那市地域公共交通協議会
日 時	令和8年7月1日（水） 午後13時30分から午後14時40分まで
場 所	伊那市役所 多目的ホール
議 事 要 旨	
1 開 会	進行：井口課長
2 市長挨拶	
3 会長指名	<u>織井委員</u>
4 会長挨拶	
5 委員紹介	
6 副会長及び監査員の指名	副会長 <u>坂下委員</u> 監査員 <u>河野委員、伊藤委員</u>
7 会議事項	(1) 令和7年度事業報告及び決算報告について（資料1） ・伊那市地域公共交通協議会路線及び定住自立圏の利用状況 公共交通の利用者推移 → 路線バスは、長谷線は減少しているがその他の路線はほぼ横倍。 → ぐるっとタクシーは、R6年度から1843人増加 協議会路線ではないが市街地デジタルタクシーを含めると公共交通全体の利用者は3234人増加 ・ぐるっとタクシーのNG率の低減への取り組み(令和8年4月から南部エリアの午前中にぐるっとタクシーを追加) ・監査員から会計監査報告 ○委員 資料2の2運行内容の検証・検討について (1) 地域からの要望とあるが、どのような要望が挙げているか (2) 「NG率の低減、乗合率の向上」とあるが、現在のNG率、乗合率はどの程度か ・事務局 地域からの要望としては、路線バスよりも、ぐるっとタクシー拡大要望が多く、時間の拡大、運行エリアの拡大等を把握しているが、現在の安定した運行まで試行錯誤を繰り返している。運行業者との協議のうえ、可能な範囲で対応していきたい。 NG率は後の資料、「ぐるっとタクシー午前中増車後の状況について」で報告しますが、南部エリアのNG率は令和7年度3.3%、令和8年度は1.2%になっている。全体では令和8年度は2.5%ほどで、南部エリアのAMに1台追加したことで全体でもNG率は低減している。 ⇒⇒ 令和7年度事業報告及び決算報告は承認された。 (2) 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について（資料2） ・既存バス路線、ぐるっとタクシーの運行 ・ぐるっとタクシーの運行や配車の最適化、適正な運賃の検討

・市民アンケートの実施

⇒⇒ 令和7年度事業報告（案）及び予算（案）は承認された。

（3）伊那市地域公共交通計画事業評価について（資料3）

4つの目標についてA, B, Cの3段階で評価

目標① A評価

目標② 対象外

目標③ B評価

目標④ B評価

⇒⇒ 伊那市地域公共交通計画事業評価は承認された。

（4）その他 なし

8 報告事項

（1）ぐるっとタクシー午前中増車後の状況について（資料4）

令和7年度と変更後の2か月間の令和8年度南部ブロックデータを比較すると1日当たりの利用者は、R7：34.6人/日がR8：33.3人/日と大きな変化は見られないがNG率がR7：3.3%がR8：1.2%に改善されている。

○委員 乗合率については、利用者が増えていない状態で増車すれば減るはずである。これ以上、乗合率を上げるにはシステム上の問題がある。顧客の待ち時間を5分としている点などシステムの内容を変えるという案はあるのか。

・事務局 待ち時間については、顧客の心理的に5分が限界であると考えている。システムの内容変更の案は今のところない。

○委員 効率の観点から、乗合率をあげたいのであれば、待ち時間設定を延ばしたり、システムを変える必要がある。

○委員 事前に遅れることがあることを、周知しておいてくれれば、もう少し待ち時間を延ばすのは可能であると思う。

○委員 14ページの資料の配車失敗数をNG率だとすると乗車人数に対して、NG率が合わないのはどうか。

・事務局 配車失敗数は希望の時間に配車できなかったデマンドの数をカウントしているのに対し、NG率はその日に何度か配車失敗していても、配車が1回でも成功していれば、カウントしないので、別のデータである。データの取り方が異なっており、2つのデータをとっている状況である。

（2）長谷線のダイヤ変更について（資料5）

○委員 登山や観光の人の利用を促すのであれば、（金）、（土）、（日）、（祝）の利用が多いため（金）、（土）、（日）、（祝）に運行した方が、乗車人数は増えると思う。

・事務局 南アルプスジオライナーとの兼ね合いがあるので慎重に検討する。

9 その他

○委員 広域的な立場から3つお願いしたいことがある。

1 つ目は、県で運行している、みすずハイウェイバスについてである。コロナ禍で利用者が減り、減便していたもの昨年から 4 便→7 便に増便した。広域の公共交通としてぜひ周知して利用促進して欲しい。

2 つ目は、J R 飯田線についてである。地域の足になっている J R 飯田線も利用されないと今後、現在より不便になってしまう可能性がある。他の伊那市の公共交通との接続も考え、利用促進して欲しい。

3 つ目は、公共交通の維持についてである。今後、人口減少の影響で、どの地域の公共交通も維持が困難になってくる。そこで、公共交通に関する市民アンケートは現在、自分で車を運転している人にも、今後自分が使う立場として、ぜひ自分事として、アンケートに答えていただき、地域の公共交通の維持に積極的に意見を出してもらえるようにして欲しい。

1 0 閉会

【以上】